

第 33 回日本ハンドセラピィ学会学術集会抄録原稿作成の手引き

第 33 回日本ハンドセラピィ学会学術集会抄録原稿作成の手引きです。

下記の内容を熟読し作成，投稿してください。

【手順】

1. 抄録作成フォーム(Microsoft Word)をダウンロード入手し，直接入力する。
2. 完成した抄録フォームをファイル名：応募演者名「〇〇〇〇 (.docx)」で保存する。
3. 保存した Word ファイルをウイルス対策ソフトなどでチェックし，問題なければ，演題・抄録オンラインシステムよりアップロードする。

【文字サイズおよびフォント設定】

- ・ フォントは MS 明朝，サイズは 10.5p とする。
- ・ 句読点は全角カンマ『，』と全角ピリオド『.』に統一する。
- ・ 英数字は半角に統一する。
- ・ 文字化けを防ぐために囲み文字，ローマ数字，単位記号，省略記号は使用せず，半角英数字などで代用する。

※以下の各入力，ダウンロードした抄録作成フォーム内にて，行数が指定されています。それを超えますと実際の抄録に掲載できず，査読対象外となりますので，行数を変更されませぬようお願いいたします。

〈各テキストボックスの文字数の目安〉

1. タイトル：全角 33 文字×2 行
2. 本文：全角 40 文字×30 行

1. 【演題名の入力】

- ・ 演題名は，和文タイトル，英文タイトルそれぞれ記載する。
- ・ 演題名（副題を入れる場合は，副題込）は，最大で 2 行以内とする。
- ・ 副題を入れる場合はその両端に全角マイナス『-』をつける。
- ・ 英文タイトルでは，タイトルとサブタイトルの最初の単語の先頭を大文字にする。
- ・ 英文タイトルでは，接続詞，冠詞以外は大文字で入力する。
- ・ 英文タイトルの最後にはピリオド（.）は付けない。

（例）Early Active Mobilization after Flexor Tendon Repair—A Systematic Review—

2. 【演者名の入力】

- ・ 演者名は筆頭演者を含み最大で 5 名（筆頭演者 1 名＋共同演者 4 名）までとする。
- ・ 筆頭演者は，英語名も記載してください。なお，「名」「姓」の順とし，先頭文字は大文字とする。
- ・ 氏名の後ろには，OTR，RPT，MD 等をつけない。
- ・ 氏名の後ろには，次に記載する所属施設名にあたる番号を上付き数字にて付記する。

3. 【所属名の入力】

- ・ 所属名は最大 5 施設までとする.

4. 【本文の入力】

- ・ 【緒言】、【目的】、【方法】、【結果】、【考察】等の内容にあった小見出しを付け、その両端は【】をつけて囲む.
- ・ 2つの小見出しを 1つにする場合は【対象・方法】のように中点『・』を使用する.
- ・ 小見出しに続いて改行せずに続けて本文を入力する.
- ・ 次の小見出しの書き始めは必ず改行し、小見出しがすべて左側に揃うようにする.
- ・ 本文中に図表は挿入しない.
- ・ 原稿は常用漢字、新仮名づかい、新医学用語を用い、かつ「整形外科用語集」及び「手外科用語集」に準じる.

5. 【Key Words の入力】

- ・ Key Word は必ず 3 つ（第 1 Key Word 含む）記載する.
- ・ 第 1 Key Word は下記から選択のうえ記載する.

第 1 Key Word	備考
骨折	橈骨遠位端骨折, 指骨折, その他の骨折
軟部組織損傷	外傷性末梢神経損傷, 腱損傷, 靭帯損傷, その他
複合組織損傷	切断肢 (指) 再接着, その他
絞扼性神経障害	手根管症候群, 肘部管症候群, その他
炎症性疾患	関節リウマチ, 狭窄性腱鞘炎, 上腕骨外側上顆炎, その他
評価	機能評価
基礎研究	バイオメカニクス, 運動生理学・神経生理学
スプリント	スプリント
実践報告	症例報告
その他 ()	*その他を選択した場合は 「その他 ()」と記載

<input checked="" type="checkbox"/>	チェック!!
<input type="checkbox"/>	文章は十分に推敲されていますか?
<input type="checkbox"/>	誤字, 脱字, 機種依存文字などはございませんか?
<input type="checkbox"/>	改行箇所は守られていますか?
<input type="checkbox"/>	行数の指定は, 変更されず守られていますか?

以上